

2022年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

juwi自然電力株式会社に「SDGs推進シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、juwi自然電力株式会社（代表取締役：ヴァルツェヒャ・ヤン・マーテン）に「SDGs推進シンジケーション」を実施いたしました。

「SDGs推進シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、juwi自然電力株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 太陽光発電所の開発、設計・調達・建設（EPC）、運営・保守（O&M）を通じた、再生可能エネルギーの導入拡大、CO2削減への貢献

目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

- ② 分散型電源の拡大による、地域の災害へのレジリエンス向上や経済活性化への貢献

目標13 気候変動に 具体的な対策を	13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。

株式会社三井住友銀行では、「SDGs推進シンジケーション」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



■東北大学での juwi 自然電力代表取締役  
Jan Warzecha による講演



■2013 年設立の juwi 自然電力は 2022 年 9  
月に国内における完工累計実績 500MW を  
達成しました

<ご参考>

※SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上